



中期経営計画

山本 信一郎

キューピー株式会社
取締役上席執行役員
コーポレート担当



当社グループはめざす姿の実現に向けて2030ビジョンで掲げた3つの視点に注力した取り組みを進めています。2021年度から開始した中期経営計画では、「持続的成長を実現する体質への転換」をテーマとし、「利益体質の強化と新たな食生活創造」「社会・地球環境への取り組みを強化」「多様な人材が活躍できる仕組みづくり」の3つの方針に基づいて、事業活動を進めています。

グループ経営方針

めざす姿
2030ビジョン

2021-2024年度 中期経営計画テーマ

持続的成長を実現する体質への転換

利益体質の強化と新たな食生活創造

海外を成長ドライバーとし、国内は市場担当制の導入でお客様のニーズに対応する

重点領域

サラダ(調味料を含む)とタマゴ

海外エリア

中国、東南アジアを中核に
北米を強化する

重点指標

ROE 8%以上
営業利益率 7.5%
海外売上高伸長率 年率10%以上

社会・地球環境への取り組みを強化

重点的な取り組み

- 健康寿命延伸への貢献と子どもの心と体の健康支援
- 資源の有効活用と循環型経済の実現
- 気候変動への対応

多様な人材が活躍できる仕組みづくり

重点的な取り組み

- グループ人材の流動化を促進
- 部門外の取り組みへの参画機会の拡大
- 学びの場を拡充

2021-2024年度中期経営計画 2年目の進捗

「利益体質の強化と新たな食生活創造」については、重点領域を「サラダ(調味料を含む)とタマゴ」と定め、海外を成長ドライバーとして体質転換を図っています。重点指標はROE、営業利益率、海外売上高伸長率の3つとしており、ROEと営業利益率は、世界的な穀物相場やエネルギーコストの上昇が影響し、前年度を下回る結果となりました。海外売上高伸長率は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、安定的な売上拡大により計画を達成することができました。今後は引き続き国内の体質強化を図るとともに、更に海外への資源投下を行います。

「社会・地球環境への取り組みを強化」については、野菜未利用部の有効活用が進んだことや商品廃棄量の削減により資源の有効活用と循環型経済の実現が進みました。2030年度のサステナビリティ目標達成に向けて取り組みを進めていきます。

「多様な人材が活躍できる仕組みづくり」については、活発な対話やキャリア支援、機会の提供などを中心とした人的資本への投資を行い、従業員が挑戦できる仕組みや環境づくりの取り組みが進んでいます。今後も更に多様性を高め、これまでにない価値創造ができるグループをめざしていきます。

先が見えにくい厳しい環境下においても持続的成長を実現する体質への転換を急ピッチで進め、世界の食と健康へ貢献するグループをめざします。